





製品安全データシート

| 危険記号 | | 保護具 | | 記号 |
|--|---|---|---|-----------|
|  |  |  |  | 規定されていません |

発行日 2014年1月6日

改訂日

改定番号

1. 製品及び会社情報

製品名 Color-coded Prestained Protein Marker

製品コード 12949, 13070

推奨用途 人に使用しないこと。 研究上の使用のみ。

会社

CSTジャパン株式会社
東京都千代田区内神田1-6-10
TEL: 03-3295-1630

登録番号 S030

2. 危険有害性の要約

GHS分類

注意喚起語



危険



危険有害性情報

- 飲み込むと有害。
- 皮膚に接触すると有害。
- 吸入した場合有害。
- 軽度の皮膚刺激。
- 吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ。
- アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

| | |
|--------------------|-----|
| 急性毒性(経口) | 区分4 |
| 急性毒性(経皮) | 区分4 |
| 急性吸入毒性 - 浮遊微粉末/ミスト | 区分4 |
| 皮膚腐食性/刺激性 | 区分3 |
| 呼吸器感作性 | 区分1 |
| 皮膚感作性 | 区分1 |

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性

注意書き:

- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 保護手袋/衣類及び保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
- 汚染された作業服は作業所から持ち出してはいけない。
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で優しく洗うこと。
- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 皮膚に刺激がある場合：医療機関で診断をうけること。
- 皮膚に刺激があるか発疹がある場合：医療機関で診断をうけること。
- 吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 呼吸器系に症状がある場合：医師に連絡すること。
- 口をすすぐこと。
- 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 施錠して保管すること。
- 内容物/容器は、承認された廃棄物処理設備で処分すること。

3. 組成、成分情報

製品タイプ

混合物

危険有害成分

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 | 化学式 | 化審法番号 | 安衛法番号 | CAS番号 |
|-------------|----------|---|--------|-------|----------|
| ラウリル硫酸ナトリウム | 1-3% | CH ₃ CH ₂ (CH ₂) ₁₀₀ SO ₃ Na | 2-1679 | | 151-21-3 |

4. 応急措置

| | |
|---------------|--------------------------------|
| 目に入った場合 | 多量の水で15分以上よく洗浄し、医師の診察を受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | 汚染された衣服と靴を脱いで、直ちに石けんと水で洗浄すること。 |
| 吸入した場合 | 新鮮な空気のある場所に移動すること。 |
| 飲み込んだ場合 | 水で口内を洗浄してから十分な量の水を与えること。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | 症状に応じた治療を行うこと。 |

5. 火災時の措置

| | |
|---------|--------------------------|
| 引火特性 | 火災発生の可能性。 |
| 消火剤 | 周辺状況と周囲環境に応じて適切な消火手段を使う。 |
| 不適切な消火剤 | 情報なし。 |

5. 火災時の措置

化学物質による特別な危険有害性 製品や空容器を、熱や発火源から遠ざける。

消防士のための保護設備及び予防措置 自給式呼吸装置と保護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 十分な換気を確保する。

環境に対する注意事項 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。

除去方法 不活性の吸収材（砂、シリカゲル、酸性接着剤、汎用接着剤、おがくず）で吸収させる。

その他の情報

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 十分な換気を確保する。

保管 乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露ガイドライン この製品にはあらゆる職業ばく露限界で規制された有害物を含みません。

設備対策 特に、閉所では十分な換気の確保が必要。

保護具

| | |
|------------|----------------|
| 目/顔面の保護 | サイドシールド付き安全眼鏡。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 保護手袋。 |
| 呼吸器の保護具 | 特別の保護具は必要ない。 |

適切な衛生対策

正しい産業衛生と安全規定に従って取扱う。

9. 物理的及び化学的性質

| | | |
|------------|--------|--------|
| 物質の状態 | 液体 | |
| 物理的状态 | 無色 | |
| 臭い | 情報なし | |
| 臭気の閾値 | 情報なし | |
| pH | データなし | |
| 融点/範囲 | データなし | |
| 凝固点 | 情報なし | |
| 初留点 | 情報なし | |
| 沸点・沸騰範囲 | データなし | |
| 引火点 | データなし | |
| 蒸発速度 | データなし | |
| 空気中での可燃性限界 | 上データなし | 下データなし |
| 爆発特性 | 情報なし | |
| 酸化特性 | 情報なし | |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|----------------|-------|
| 蒸気圧 | データなし |
| 蒸気密度 | データなし |
| 比重 | データなし |
| 水溶性 | 情報なし |
| 溶解性 | 水に溶解性 |
| n-オクタノール/水分配係数 | データなし |
| 自然発火温度 | データなし |
| 分解温度 | 情報なし |
| 粘度 | 情報なし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|----------------|
| 安定性 | 通常の状態では安定。 |
| 避けるべき条件 | 熱、炎、火花。 |
| 混触禁止物質 | 特に言及するべき物質は無し。 |
| 危険有害な分解生成物 | 通常使用下ではない。 |
| 反応性 | 通常の条件下では安定である。 |

11. 有害性情報

製品情報

| | |
|---------------|------------------|
| 経口 | 500 mg/kg (ATE) |
| 経皮 | 1100 mg/kg (ATE) |
| 吸入した場合 ミスト | 1.5 mg/L (ATE) |

| 化学名 | LD50/経口 | LD50/経皮 | LC50/吸入した場合 |
|-------------|--------------------|----------------------|------------------------------------|
| ラウリル硫酸ナトリウム | 1288 mg/kg (Rat) | 580 mg/kg (Rabbit) | 3900 mg/m ³ (Rat) 1 h |

慢性毒性・長期毒性

| | |
|---------|----------------------------|
| 発がん性 | この製品には既知の発がん性化学物質は含まれていない。 |
| 刺激 | 区分3。 |
| 腐食性 | 情報なし。 |
| 感作性 | 区分1。 |
| 神経疾患 | 情報なし。 |
| 変異原性影響 | 情報なし。 |
| 生殖器への有毒 | 情報なし。 |
| 発生毒性 | 情報なし。 |
| 目標臓器効果 | 情報なし。 |

1 2. 環境影響情報

生態毒性

| 化学名 | 藻類に有毒 | 魚毒性 | 微生物に対する毒性 | Daphnia magna (オオミジンコ) |
|-------------|---|-----|---|-----------------------------|
| ラウリル硫酸ナトリウム | <i>h</i> EC50 72 53 mg/L <i>h</i> EC50 96 30 - 100 mg/L <i>h</i> EC50 96 117 mg/L <i>h</i> EC50 72 53 mg/L | | <i>EC50</i> = 0.46 mg/L 30 min <i>EC50</i> = 0.72 mg/L 15 min <i>EC50</i> = 1.19 mg/L 5 min | <i>EC50</i> = 1.8 mg/L 48 h |

残留性/分解性 情報なし。

生体蓄積性 情報なし。

移動性 情報なし。

| 化学名 | log Pow |
|-------------|---------|
| ラウリル硫酸ナトリウム | 1.6 |

1 3. 廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器・包装 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

1 4. 輸送上の注意

IMDG/IMO 規定されていません。

ICAO 規定されていません。

IATA 規定されていません。

DOT 規定されていません。

TDG 規定されていません。

MEX 規定されていません。

RID 規定されていません。

ADR 規定されていません。

ADN 規定されていません。

1 5. 適用法令

国際在庫調査

TSCA -
 EINECS/ELINCS 登録あり
 DSL/NDSL 登録あり

15. 適用法令

| | |
|-------|---|
| PICCS | - |
| ENCS | - |
| 中国 | - |
| AICS | - |
| KECL | - |

説明

TSCA - 米国：有害物質規制法 セクション8 インベントリー
 EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー／欧州届出化学物質リスト
 DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト／カナダ非国内物質リスト
 PICCS - フィリピン化学品及び化学物質インベントリー
 ENCS - 化審法
 IECSC - 中国既存化学物質目録
 AICS - オーストラリア既存化学物質リスト
 KECL - 韓国既存化学物質目録

タイトルVIIの規制に達する 情報なし。

毒物及び劇物取締法： -

化学物質排出把握管理促進法： 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）ラウリル硫酸ナトリウム：政令番号1-275

16. その他の情報

改訂日

改定メモ

推奨される制限

免責条項

このMSDSの情報は、その公開の時点において弊社の有する知識、情報及び見解の限りにおいて作成されています。提供した情報は、安全な取り扱い、使用、加工、貯蔵、輸送、廃棄及び放出のためのガイドのみを意図としたものであり、品質を保証しているものではありません。この情報は指定した特定の物質のみに関するものであり、他の物質とともに使用する場合、または他のプロセスで使用する場合はこのMSDSに記載のない限り適用されないことがあります。